

絵本でつなぐ、長岡野菜の魅力と長岡愛

和田悦子

私は、四年前の二〇一六年に『長岡野菜絵本プロジェクト』を立ち上げ、長岡野菜絵本を制作してきました。長岡野菜は、長岡で昔から栽培されてきた野菜、長岡で栽培すると美味しい野菜、長岡で独特の食べ方をする野菜で、現在十六品種が認定されています。

私は関東で結婚し、子供が産まれてから長岡に帰って来ました。家族の口に入る食材の安心安全に興味を持って訪れた地産地消イベントで、長岡野菜とそれらを使った郷土料理を初めて知りました。蒸かし茄子や煮菜を初めて食べた時、『なんて美味しい野菜があるんだらう！』と驚きました。そして、子供の頃から知っていたら、もっと長岡のことを好きになっていくかもしれないと感じ、この活動を始めました。

『なぜ、絵本なの？』ということをよく聞かれます。我が家では子供が小さかった頃、

夜寝る前に絵本を読むことが習慣でした。一
緒に絵本を読むと、虫や動物、植物、宇宙な
ど新しい世界が、子供や親の中にも広がって
いくことを実感しました。そして日中『これ
絵本に出てきたね！』などと共有でき、会話
も広がりました。『一緒に読むだけで、親子
で共通の新しい世界が広がる』。そんな絵本
を、私も作りたいたいと思いました。

絵本を作ると決めてからは、手伝ってくれ
る仲間を集めたり、農家さんを取材したりと、
制作に奔走しました。絵本制作中、夫が自分
のお店をオープンしたことも重なり、お店と
絵本にかかりつきりて家や子供の事が疎かに
なり、寂しい思いをさせてしまった事もあり
ました。何の為に絵本を作っているのかわか
らなくなってしまう、何度も『もう絵本作り
はやめよう』と悩みましたが、その度に関係
者に助けてもらいながら、なんとか絵本を完
成させる事が出来ました。

プロジェクトの発足から、四年で二冊を発

行しました。巾着ナスを題材にした「ぼくきんちやくなす」と、長岡菜と体菜を題材にした「兄妹畑のたあことなあこ」です。絵本を読んだ長岡の子供達が『長岡野菜って面白いな、長岡ってなんかいいな』と感じてもらえる様、見慣れた長岡の景色なども絵本に登場させています。絵本を通じて長岡への思いが、心のどこかに残り、大人になってからふと思い出す郷土愛になってくれたら嬉しいです。

絵本制作を始めてから、小学校の総合学習の授業で読み聞かせをする機会を何度か頂きました。子どもたちに直接絵本を読んだり、長岡野菜の話をして感じるのは、子供達は野菜そのものだけではなく、生産する農家さんや、その野菜の食べ方にも興味を示すという事です。それを知ってからは、授業で地元の農家さんを紹介したり、料理人の方と一緒に長岡野菜を使った調理実習を行ったりしました。

そういった授業をすることで、絵本を通じ

て、野菜を作る人・料理する人（家庭で調理する人も含め）・食べる人が繋がることを実感しました。その繋がりを少しずつ、ゆっくりではありますが、絵本を通して増やしていきたいと思っっています。

『長岡に住んでいる人達が、長岡のことをもっと好きになってくれたらいいな』

そんな思いを抱きながら、これからも絵本制作を続け、長岡野菜十六種全種類の絵本を制作していきたいと思います。